

5年生社会科

「自然災害からくらしを守る」

発問及び板書計画(案)

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

〒790-8574 愛媛県松山市土居田町797-2

TEL: 089-972-0034 (代表)

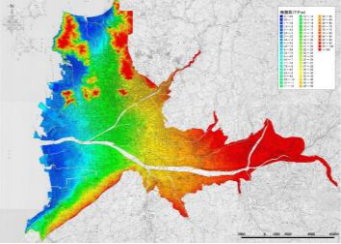

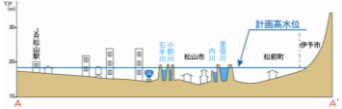

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>

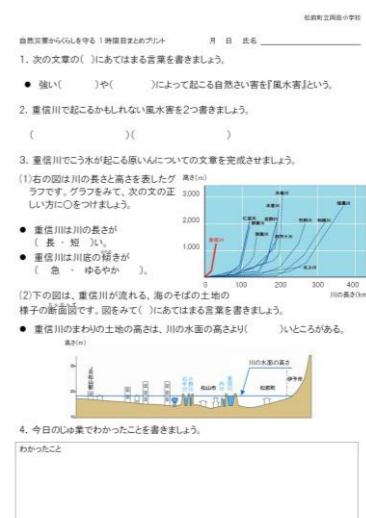
発問及び板書計画(1/4 自然災害の起こりやすい国土と河川かんきょうがもたらすおんけい)

※水色の文字については、小学5年生にて学習する漢字を示す。

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>導入 (15分)</p>	<p>T：今日は、川と災害についての話をします。この写真を見てください。何の写真かわかりますか？ 黒板貼り付け：“【写真】重信川流いき写真”、“【写真】重信川の上流”、“【写真】重信川の中流”、“【写真】重信川の下流”、 (C：重信川だと思います。)</p> <p>T：そうです。重信川です。重信川を空から写した空中写真です。写真では、川は右から左に流れていて、上流・中流・下流となっています。いまみなさんがいる岡田小学校は写真上の★、松山城はここです。このなかで、川で遊んだことがある人はいますか？ (C：はい！あります。)</p> <p>T：では、これらは河川のいろいろな場所をとった写真で、“白猪の滝”、“キャンプ”、松山市にある“松原泉”、“野鳥の楽園”です。「上流」「中流」「下流」のどのあたりの写真だと思いますか？遊んだことがあるという〇〇さんと□□さん、前に出て黒板に貼ってみてください。 黒板貼り付け：“【写真】しらいの滝の景観”、“【写真】キャンプ”、“【写真】松原いずみ”、“【写真】ひがた”、“【写真】野鳥の楽園”</p> <p>T：はい、ありがとうございます。正解は、白猪の滝の景観とキャンプ場は川の上流の方、松原泉は中流ですね。下流には干潟があり、野鳥が見られます。川にはこのようにいろいろな場所があって、わたしたちもいろいろな景色を楽しんだり、遊んだりすることができます。普段は水の少ない重信川ですが、少しでも自然環境を残すように川の中に水面をつくって、いい場所になっていますね。でも、川は時々こんな顔を見せることがあります。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】こう水時の重信川（平成13年6月）”、“【写真】こう水時の重信川（平成29年9月）”を児童に提示</p> <p>T：これはどこがどうなったときの写真でしょうか？ (C：重信川でこう水が起きた時の写真だと思います。)</p> <p>T：正解です。わたしたちが普段から慣れ親しんでいる重信川も、最近では平成29年の9月の台風で、写真のように川の水があふれそうになりました。おうちの人の携帯電話も緊急アラームが鳴ったのではないのでしょうか。先生の携帯電話も鳴りました。川は、普段は楽しい場所だけれど、規模の大きい台風が来たり、大雨が降ったりすることによって、また、この写真のような状況になってしまうかもしれません。さらに、わたしたちの身のまわりで起こる災害は洪水だけではないのです。</p> <p>T：わたしたちの身近なところや日本のさまざまところで、洪水以外にもさまざまな自然災害が発生しています。洪水のように台風や大雨によって発生する災害を風水害といいます。これから行う4回の授業ではこの風水害について学習します。今日の授業のテーマはこれです。 ※“授業のめあて”を黒板に書き（もしくは事前に“授業のめあて”を記載したマグネットシート等を黒板に貼る）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> めあて：重信川では、風水害はどのように起こるのだろう </div>	<p>教材</p>  <p>【写真】重信川流いき写真</p>  <p>【写真】重信川の上流</p>  <p>【写真】重信川の中流</p>  <p>【写真】重信川の下流</p>  <p>【写真】しらいの滝の景観</p>  <p>【写真】キャンプ</p>  <p>【写真】松原いずみ</p>  <p>【写真】ひがた</p>  <p>【写真】野鳥の楽園</p>  <p>【写真】こう水時の重信川（平成13年6月）</p>  <p>【写真】こう水後の重信川（平成29年9月）</p>	<p>指導上の留意点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重信川周辺の写真であることを想起させるには・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・“泉”や“干潟”が写真に写っているなど、児童に想起させるためのヒントを与える。 ● “洪水”の定義 <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水位や流量が異常に増大することにより、平常の河道から河川敷内に水があふれること、及び、堤防等から河川敷の外側に水があふれること。 ・水文学における「洪水」の定義では、降雨や融雪などにより河川の水位や流量が異常に増大すること。 <p style="text-align: right;">※気象庁HPより</p>

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>展開 (25分)</p>	<p>T：さて、みなさんに質問です。先ほどのこの写真ですが、空中写真でいうと、川のどのあたりでのことだったと思いますか？考えてみてください。</p> <p>※洪水時の写真をみせ、児童が考える時間を設ける（1分程度）</p> <p>T：みなさん、どうでしょうか？ (C：大きな橋があるので中流か下流だと思います。) (C：川のはばが広いので、下流だと思います。)</p> <p>T：そうですね。平成13年の洪水の写真は出合大橋、平成29年の写真は出合橋をとったものです。重信川の空中写真だと、この位置になります。</p> <p>黒板貼り付け：“【写真】こう水時の重信川（平成13年6月）”</p> <p>T：次に、この写真を見てください。これらはどのような写真でしょうか？この写真からわかることはなんですか？</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】平成29年7月九州北部ごう雨災害（土しや災害 上流）”、“【写真】平成16年台風18号 高しお災害（香川県高松市）”、“【写真】平成29年7月九州北部ごう雨災害（土しや災害 下流）”、“【写真】平成16年台風23号 波ろう災害（高知県室戸市）”</p> <p>(C：山が崩れています。) (C：家が土に埋まっています。) (C：木のようなものがいっぱい流れてきています。) (C：街が水につかっています。)</p> <p>T：そうですね。まず、山のある川の上流などでは、雨がたくさん降ると、土の中に水が入り、このように山がくずれて「土石流」や「がけ崩れ」といった「土砂災害」が起こる可能性があります。また、川の下流や、海沿いの街では、台風が来たときに海面が異常に高くなる「高潮」や、風によって高い波がうねりとなってやってくる「波浪」などが起こります。</p> <p>※“土砂災害 上流”を黒板の「上流」に貼り、“高潮災害”を黒板の「下流」に貼る</p> <p>黒板貼り付け：“【写真】平成29年7月九州北部ごう雨災害（土しや災害 上流）”、“【写真】平成16年台風18号 高しお災害（香川県高松市）”</p> <p>T：先ほども言いましたが、このように強い風や大雨などによって起こる自然災害のことを『風水害』と言います。『風水害』が起こるのは雨や風が原因ではありますが、実はほかのことも関係があります。みなさんが普段から見ている重信川で起きる洪水について考えてみましょう。この図をみてください。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】重信川水けい流いき図”</p> <p>T：これは、重信川に水が集まる範囲を示している図です。重信川は東温市の東三方ヶ森(ひがしさんぼうがもり)を水源として、伊予灘まで流れる、長さ36kmの川です。上流は森林が多く、下流に向かうと田んぼや畑、果樹園があり、また、大きな工場や松山市の市街地があり、多くの人々が生活しています。重信川には、この範囲から水が集まってくるのですが、このようにいくつもの小さな川が注ぎ込んでいるので、重信川にはたくさんの水が流れることとなります。</p> <p>T：では重信川の川底の傾きや長さなどはどうでしょうか？グラフの縦方向が高さ、横方向が川の長さを示し、全国各地の川と重信川と比べているこの図をみてください。どうでしょうか。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】重信川の高さと長さ”</p> <p>(C：仁淀川と同じくらい急な川です。) (C：他の川にくらべて短い川です。)</p>	<p>教材</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真】こう水時の重信川（平成13年6月） 【写真】こう水後の重信川（平成29年9月）</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">写真</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">写真</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">写真</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">写真</div> </div> <p>【写真】平成29年7月九州北部ごう雨災害（土しや災害 上流） 【写真】平成16年台風18号 高しお災害（香川県高松市）</p> <p>【写真】平成29年7月九州北部ごう雨災害（土しや災害 下流） 【写真】平成16年台風23号 波ろう災害（高知県室戸市）</p>  <p>【図】重信川水けい流いき図</p>  <p>【図】重信川の高さと長さ</p>	<p>●<u>下流の写真であることを想起させるには・・・</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・“大きな橋”が写真に写っている、川の幅が広いなど、児童に想起させるためのヒントを与える。 <p>●<u>重信川で洪水が起こる原因を2つの観点から整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水が起こる要因を、“川の勾配”、“地形”の観点から整理 <p>●<u>重信川の特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の河川は比較的急流であり、そのなかでも重信川は全国でも有数の急流河川であることを認識してもらう。

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等																					
	<p>T：そうですね。重信川は他の川と比べて長さが短く、川底の傾きが急な川です。長さが短いということは、川の水が短時間で一気に伊予灘まで到達するというので、重信川は全国でも有数の急流河川です。</p> <p>T：次に、重信川流域の中でも多くの人々が生活している重信川の河口付近では、川の水位や土地の高さ、街の状況はどうなっているのでしょうか。この写真と図を見てください。どうでしょうか。</p> <p><u>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】重信川河口部”、“【図】重信川横断図（A-A' 断面）”</u></p> <p>（C：川の水位が周りの土地の高さよりも高いです。） （C：松山城や道後温泉などがある、大きな街です。）</p> <p>T：そうですね。この図では重信川の水位よりも周りの土地の高さが低いので、堤防が決壊したり、洪水が起こったりすると街が浸水しやすく、被害が大きくなる危険性があります。松前町では昨年水害がありましたね。松前町は過去にもこのような災害がありました。</p> <p><u>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【表】松前町 災害の記ろく”</u></p> <p>T：では、重信川についてわかったことを発表してください。 （C：重信川は他の川にくらべて短く、川底の傾きが急な川です。） （C：重信川の水位よりも周りの土地の高さが低いので、街が浸水しやすく、被害が大きくなりやすい。）</p> <p>T：そうですね。重信川は、山で降った雨が短い時間で下流部まで流れ、洪水が起こると、その周り（特に下流部）で大きな被害を起こすかもしれない川であることを学習しました。重信川で人が集まる場所は、自然が豊かできれいなところだったり、遊べる場所があったり、たくさんの方が集まることができる広場があったりしますよね。そこに行くと、普段とはちょっと違う気分を味わえます。ただ、自然が豊かであるということはわたしたちにさまざまな恵みを与えてくれる一方で、今日勉強したような、自然災害が起こることもあるのです。</p> <p>T：今日は、主に洪水などの風水害について勉強してきましたが、日本では他にもさまざまな災害が発生しています。どのような災害がありますか？ 最後に少し考えてみてください。</p> <p><u>※日本で起こる災害を考える時間を設ける（3分程度）</u></p> <p>（C：地震） （C：津波） （C：噴火）</p> <p><u>黒板貼り付け：“【写真】自然災害（地しん、つ波、ふん火）”</u></p> <p>T：そうですね。このように日本では洪水だけではなく、ほかにもさまざまな災害が起こっており、わたしたちの生活に大きな被害をもたらすことがあるのです。</p>	 <p>【図】重信川の高低差</p>  <p>【写真】重信川河口部</p>  <p>【図】重信川横断図（A-A' 断面）</p> <div data-bbox="2113 976 2407 1190" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写真</p> </div> <p>【図】阿歌古溪谷（東温市）</p> <table border="1" data-bbox="2113 1249 2421 1570"> <thead> <tr> <th>年月日</th> <th>種類</th> <th>被害の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和18年（1943） 7月21日～24日</td> <td>台風</td> <td>北伊予村浸水で1人が死亡。 阿波地区でも600軒（大木合村地区）で1人が死亡した。 被害は甚大であった。</td> </tr> <tr> <td>昭和20年（1945） 9月16日～17日</td> <td>台風</td> <td>北伊予村で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。</td> </tr> <tr> <td>昭和20年（1945） 10月7日～10日</td> <td>阿波地区</td> <td>阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。</td> </tr> <tr> <td>平成19年（1998） 9月22日～23日</td> <td>台風</td> <td>阿波地区の上で水につかった。 被害は甚大であった。</td> </tr> <tr> <td>平成19年（2007） 9月24日</td> <td>台風</td> <td>阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。</td> </tr> <tr> <td>平成29年（2017） 9月17日</td> <td>台風</td> <td>阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表】松前町災害の記ろく</p> <div data-bbox="2003 1642 2220 1785" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写真</p> </div> <div data-bbox="2226 1642 2442 1785" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写真</p> </div>  <p>【写真】自然災害（地しん、つ波、ふん火）</p>	年月日	種類	被害の概要	昭和18年（1943） 7月21日～24日	台風	北伊予村浸水で1人が死亡。 阿波地区でも600軒（大木合村地区）で1人が死亡した。 被害は甚大であった。	昭和20年（1945） 9月16日～17日	台風	北伊予村で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。	昭和20年（1945） 10月7日～10日	阿波地区	阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。	平成19年（1998） 9月22日～23日	台風	阿波地区の上で水につかった。 被害は甚大であった。	平成19年（2007） 9月24日	台風	阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。	平成29年（2017） 9月17日	台風	阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。	
年月日	種類	被害の概要																						
昭和18年（1943） 7月21日～24日	台風	北伊予村浸水で1人が死亡。 阿波地区でも600軒（大木合村地区）で1人が死亡した。 被害は甚大であった。																						
昭和20年（1945） 9月16日～17日	台風	北伊予村で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。																						
昭和20年（1945） 10月7日～10日	阿波地区	阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。																						
平成19年（1998） 9月22日～23日	台風	阿波地区の上で水につかった。 被害は甚大であった。																						
平成19年（2007） 9月24日	台風	阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。																						
平成29年（2017） 9月17日	台風	阿波地区で浸水が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。 阿波地区でも被害が甚大であった。																						

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
まとめ (5分)	<p>T:では、今日の学習で分かったことを、プリントにまとめてください。 ※まとめのプリントを配付する。今日の学習で分かったことをプリントにまとめる時間を設ける（5分程度）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 重信川での水害は、川の地形が関係している 重信川は豊かな自然を与えてくれるが、大きな災害をもたらすこともある </div>		

<板書計画>

重信川では、風水害はどのように起こるのだろう

野鳥の楽園
ひがた



下流

高しお

写真

松原
いずみ



中流

こう水



わたしたちの近くを流れる重信川



上流



しらいの滝

キャンプ

写真

土石流

★重信川の特ちょう

- ほかの川とくらべて長さが短く、川底のかたむきが急
- 下流部では、川の水位よりも周りの土地の高度が低い

→てい防が決かいしたり、こう水が起こったりすると、街がしん水しやすい

日本で起こる災害

写真

地しん

写真

つ波



ふん火

発問及び板書計画(2/4 自然災害からくらしを守るために)

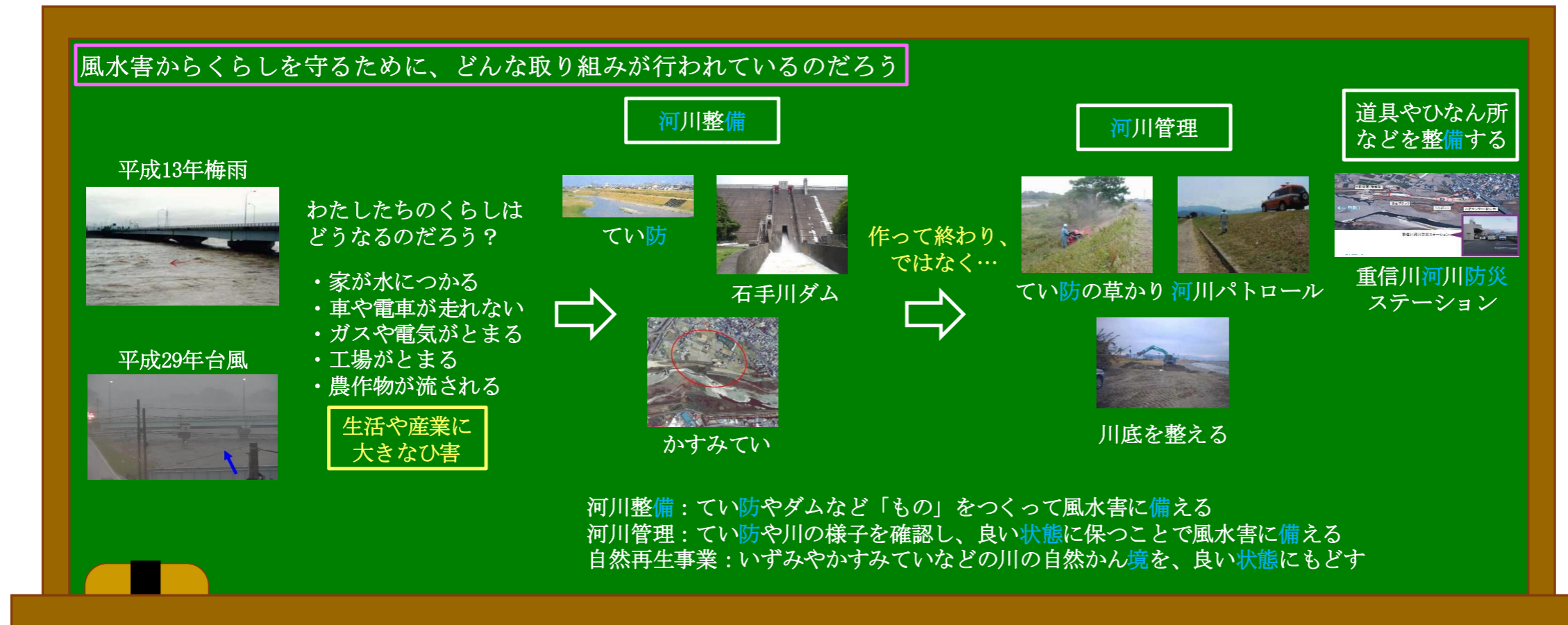
配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>導入 (15分)</p>	<p>T：今日は、この映像から見ましょう。 スクリーン or TV画面：“【映像】 守りきれない洪水は必ず発生する”を放映 ※ “守りきれない洪水は必ず発生する” (MLITチャンネル) を放映 (1分40秒程度)</p> <p>T：これは前回の授業で勉強した、“洪水”についての映像です。川の水位が上がり、道路や家が水につかたり、川岸が壊れてしまったりしています。重信川でも同じような洪水が起こったときの写真を、紹介しましたね。 黒板貼り付け：“【写真】 こう水時の重信川 (平成13年6月)”、“【写真】 こう水時の重信川 (平成29年9月)”</p> <p>T：そして、重信川はどのような特ちょうを持った川か、覚えていますか？ 覚えている人は発表してください。 (C：重信川は他の川と比べて短いです) (C：川底の傾きが急な川です) (C：重信川の下流部になると、重信川の水位よりも周りの土地の高さが低いです)</p> <p>T：そうですね。重信川の特徴から、山で降った雨が短い時間で下流部まで流れ、洪水が起こるとその周りに、特に下流部で大きな被害を起こすかもしれない川であることを学習しました。また、洪水が起こる原因として、“川底の傾き”、“川のまわりの土地の高さ”などがあることを学習しましたね。</p> <p>T：今後、大きな台風が来たり、大雨が降ったりすることによって、わたしたちの街も、授業の始めに見てもらった映像のような状況になってしまうかもしれません。今日は、わたしたちのくらしを風水害から守るために、さまざまな取り組みが行なわれていることについて学習していきます。 今日の授業のテーマはこれです。 ※ “授業のめあて”を黒板に書く (もしくは事前に “授業のめあて”を記載したマグネットシート等を黒板に貼る)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> めあて：風水害からくらしを守るためにどんな取り組みが行われているのだろう </div>	<div style="text-align: center;">  <p>【映像】 “守りきれないこう水は必ず発生する”</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【映像】 “守りきれないこう水は必ず発生する” “よりばっすい (関東・東北ごう雨)”</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【映像】 “守りきれないこう水は必ず発生する” “よりばっすい (平成28年8月ごう雨)”</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【写真】 こう水時の重信川 (平成13年6月)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【写真】 こう水時の重信川 (平成29年9月)</p> </div> </div>	<p>● “洪水の恐ろしさ”を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水による被害の様子や被害の状況に関する映像を使って、児童に洪水の恐ろしさを伝える。 <p>● 1コマ目の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1コマ目で学習した“重信川での災害 (洪水)”、“その原因”の観点から復習を行う。
<p>展開 (25分)</p>	<p>T：ところでみなさんは、どうして重信川という名前なのか知っていますか？ (C：4年生のときに学習しました。足立重信という人の名前からとったというのを聞きました。)</p> <p>T：そうでしたね。重信川の「重信」というのは、人の名前でした。4年生の復習になりますが、むかし、重信川は「伊予川」とよばれていて、大雨が降るたびに洪水が起きて田んぼや畑が流され、人も大勢犠牲になる「暴れ川」でした。江戸時代になって、松山藩主の加藤嘉明 (よしあき) というお殿さまの命令で、家臣の足立重信という人が、暴れ川を治めるために川の流れ方を変える大工事をしました。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】 加藤嘉明”、“【図】 足立重信”、“【図】 重信川のか道のうつり変わり”</p> <p>T：そのおかげで、川沿いの田畑は水害が少なくなり、農作物を育てるために必要な水を田畑に引くことができるように整備されたので、たくさん農作物がとれるようになりました。 人々は、重信の立派なはたらきをたたえて、伊予川を重信川と呼ぶようになったのです。日本の川で人の名前がついているのは、この重信川だけなのではないか、と言われていました。足立重信はそれだけ大変なことを成しとげたのですね。</p> <p>T：足立重信のおかげで、洪水は少なくなりましたが、それでも重信川はまだまだ暴れん坊で、そのあとも洪水が何度も起こっています。さて、ここでまた質問です。もし今、たくさん雨がふって重信川の水があふれたら、街が水につかたってしまうよ。もしそうなってしまったら、わたしたちのくらしにどのような影響があると思いますか？ 授業のはじめに見てもらった洪水の映像を思いだして、考えてみてください。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【図】 加藤嘉明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【図】 足立重信</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>【図】 重信川のか道のうつり変わり</p> </div>	

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
	<p>※街が浸水すると、私たちの生活にどのような影響があるか、児童が考える時間を設ける（5分程度）</p> <p>T：みなさん、どうでしょうか？ 街が浸水すると、わたしたちの暮らしにどのような影響があるか、思いついた人は手を挙げて発表してください。 (C：家が水につかると、家のなかのものが全部ぬれてしまいます。) (C：車や電車が動かなくなると思います。) (C：電気やガスが使えなくなると思います。) (C：農作物が流されると思います。) (C：工場が使えなくなると思います。) (C：水の高さが高いと、小さい子ども、おじいちゃんやおばあちゃんはおぼれてしまうと思います。)</p> <p>T：そうですね。みなさん、このイラストを見てください。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】水害のひ害指標分せきの手引き”を児童に提示</p> <p>T：このように浸水する高さによって起こる被害はちがいます。みなさんのひざ上や腰くらいの高さまで水がくると、家の中に水が入ってきて、停電が起こったり、電車が動かなくなったりするおそれがあります。停電したり、水が出なくなったりすると、何もできずとても困りますよね。電車が動かないと、仕事に行けない人もいますし、工場の機械が水につかって動かなくなると、機械がまた動くようになるまで、工場で働いている人は仕事なくなってしまう。洪水が起こると、わたしたちの生活だけでなく、産業にもとても大きな影響が出るのがわかりますよね。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】平成16年7月新潟・福島ごう雨 事業所のしん水じょうきょう 新潟県三条市”、“【写真】平成12年9月東海ごう雨 洪水流で破かいされた工場 愛知県名古屋市”、“【写真】平成10年10月重信川の洪水により浸水した家”を児童に提示</p> <p>T：実は、このようなことにならないよう、普段から洪水などの風水害による被害を減らすために働いている人たちがいるのですが、どんな人たちが働いていると思いますか？ (C：わかりません…) (C：役場の人)</p> <p>T：洪水が再び起こらないように働いているのは、国や県、町といった公的機関や、地域の人々です。たくさんの人たちが協力しながら、洪水が起こらないよう対策を行っています。対策とは、ある事柄や状況に応じてとる手段や取り組みのことを言います。ではこれから、どのような対策が行われているかについて調べてみましょう。 ではみなさん、どんな対策を行なっていると思いますか？ (C：堤防をつくる) (C：川の上流にダムをつくる) 黒板貼り付け：“【写真】てい防”、“【写真】石手川ダム”</p> <p>T：そうですね。堤防、ダムなどがありますね。堤防は、みなさんが普段、目にしているか知っていますか。川の両脇に土を高く盛ったものかをいいます。堤防には川の水があふれにくいようにする役目があります。では次に、ダムについて少し説明しますね。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】石手川ダム”（黒板に貼り付けたものと同じものを使用）</p> <p>T：この写真は、石手川の上流にある、石手川ダムです。昭和18年と昭和20年の大雨で、重信川と石手川で、家が流されたり水につかったり、大変な被害が起こったため、国が、石手川ダムをつくりました。石手川ダムの役割は、洪水のときに川に流れる水の量を減らして洪水から街を守ることなのです。そのほかにもダムでは、日照りが続いて川の水が減らないようにするため水を貯め、少しずつ水を流したり、ダムの水は、みなさんの飲み水や農業用にも使われていたりするのですよ。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】石手川ダムの放流の様子（2017年9月台風18号出水時）”</p>	<p>教材</p>  <p>【写真】平成16年7月新潟・福島ごう雨 事業所のしん水じょうきょう 新潟県三条市 (経済産業省・国土交通省資料より)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="2033 619 2240 766"> <p>写真</p>  <p>【写真】平成12年9月東海ごう雨 洪水流で破かいされた工場(愛知県名古屋市)</p> </div> <div data-bbox="2285 619 2463 766"> <p>写真</p>  <p>【写真】平成10年10月重信川の洪水により浸水した家</p> </div> </div>  <p>【図】水害のひ害指標分せきの手引き</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="2033 1333 2240 1480">  <p>【写真】てい防</p> </div> <div data-bbox="2270 1333 2478 1480">  <p>【写真】石手川ダム</p> </div> </div>  <p>【写真】石手川ダムの放流の様子（2017年9月台風18号出水時）</p>	<p>指導上の留意点等</p> <p>●治水対策の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の回答が合っている場合、写真を提示。 回答が出てこない場合は先に写真を提示し、回答させることも可


配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
	<p>T：また、「松前のくらし」119ページに紹介されていますが、みなさんは、かすみづつみやかすみてい（霞堤）という言葉を知ったことはありますか？霞とは「うっすらとうすい雲のようなもの。短冊などのような形で、横に長くぼかしたもの」ですが、霞堤は堤防のひとつで、武田信玄が考えられたものといわれています。大きな被害を出す洪水をふせぐため、堤防が壊れる前に人が住んでいない田畑に水があふれるよう、あらかじめ水の逃げ道をつくっておく方法です。洪水の被害を少しでも少なくするための、昔の人が考えた工夫で、重信川にはいまも9か所も残っています。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】かすみてい”、“【図】かすみていのはたらき”</p> <p>T：このように、モノをつくって風水害にそなえることを『河川整備』といいます。しかし、堤防やダムをつくるだけの対策では、風水害からの被害はなくなりません。さらに被害を小さくするため、普段から行われていることがあるのですが、それはどのようなことでしょうか？これから黒板にはり付ける写真を見て気付いたことを発表してください。</p> <p>黒板貼り付け：【写真】てい防の草刈り、【写真】河川パトロール、【図】重信川河川防災ステーション、【写真】川底を整える</p> <p>どんな仕事をしていますか？何が写っていますか？</p> <p>(C：堤防で草刈りをしています)</p> <p>(C：ショベルカーで、土を掘っています)</p> <p>(C：川の見まわりをしている？)</p> <p>(C：松山市にある水防センターがみえます)</p> <p>T：はい、そのとおりです。では、被害を小さくするためですが、なぜ草刈りをするのだと思いますか？</p> <p>(C：堤防の土の様子が変わりやすくなるからではないでしょうか。)</p> <p>(C：草の根が堤防を壊すからではないでしょうか。)</p> <p>T：みなさん、なかなか鋭いですね。草刈りは、もしも洪水が起こったときに、堤防の壊れた箇所がすぐわかるようにするために行われています。県や国の人たちは、洪水が起こったときに、堤防や施設が壊れて被害が大きくなってしまわないよう、異常があったらすぐわかるように、ふだんから堤防の草刈りをしたり、川の様子を見まわったりしています。また、水が流れやすくなるように、川の底を掘ることなどもしています。</p> <p>また、県や町は、水防倉庫をつくって洪水が起こったときに被害を大きくしないために使う道具などを備えたり、町は、避難所を整備したり、いざというときの食料を蓄えたりしています。愛媛県は松山市にある重信川河川防災ステーションに水防倉庫をつくって備えていますし、松前町には、北伊予校区に「横田水防倉庫」があります。</p> <p>わたしたちのくらしを守るために、ふだんからさまざまな人達がいろいろなことをしていますね。</p> <p>T：草刈りや川のパトロールのように、堤防などの様子を日々確認して風水害にそなえることを「河川管理」といいます。重信川では、それに加えて、先ほど紹介した霞堤や、泉などの河川環境を整える「自然再生事業」も行われています。</p> <p>例えば、松山市にある松原泉は、水がない期間や範囲が長くなり、魚がとても住みにくい環境でした。そこで、重信川と泉をつなげるようにし、水辺の植物や林を再生し、水をきれいにしたことで、魚だけでなく昆虫や鳥もやってくるようになりました。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】再生された松原いづみ”、“【写真】松原いづみで虫取り(左) かん境学習(右)”</p> <p>T：普段は良い環境のなか、自然観察会や昆虫採集が行われていますよね。こうやって川の周辺の自然環境も整えることで、川の生き物が住みやすくなり、みなさんが虫や魚をとったりして川で遊びやすくなったりできるようになります。</p>	<p>教材</p>  <p>【写真】かすみてい</p>  <p>【図】かすみていのはたらき</p>  <p>【写真】てい防の草刈り</p>  <p>【写真】河川パトロール</p>  <p>【写真】川底を整える</p>  <p>【写真】重信川河川防災ステーション</p>  <p>【写真】再生された松原いづみ</p>  <p>【写真】松原いづみで虫取り(左)かん境学習(右)</p>	<p>●霞堤の呼称の由来について</p> <ul style="list-style-type: none"> 霞堤の区間は堤防が折れ重なり、霞がたなびくように見える様子から。 ※最上川電子大辞典（山形河川国道事務所 HP）より <p>●平常時の河川管理の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の回答が合っている場合、写真を提示。 回答が出てこない場合は先に写真を提示し、回答させることも可

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T：それでは、今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。 ※今日の学習で分かったことをノートにまとめる時間を設ける（1分程度）</p> <p>T：ノートにまとめたことを発表してください。 (C：風水害が起こったら電気がとまるかもしれないし、工場が動かなくなるかもしれない、大きな被害がでることがわかりました) (C：風水害によるひ害をへらすために、国や県や町の人たちがいろいろな仕事をしていることがわかりました) (C：重信川では、川のまわりの自然を、昔あったとおりに再生しようとされています)</p> <p>T：それでは、今日のまとめです。 ※口頭でまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・風水害はわたしたちの暮らしに大きな影響をおよぼす ・風水害から暮らしを守るために、ふだんから様々な取り組みが行われている </div>		




<板書計画>



発問及び板書計画(3/4 もしも自然災害が起こったら)

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点																																						
<p>導入 (10分)</p>	<p>T：みなさん、前回の授業では、もし重信川で洪水が起こったら、わたしたちの暮らしにどのようなえいきょうがでるか、学習しましたが、覚えていますか？ (C：車や電車が動かなくなります。) (C：電気やガスが使えなくなります。) (C：工場が使えなくなります。)</p> <p>T：はい、そうですね。重信川ではふだん、自然観察会や虫取りイベント、いもたきやお祭りもありますが、洪水が起こらないようにさまざまな対策がされていること、洪水が起こったときに、対策がきちんと効果をはっきりするよう、普段からいろいろな人たちが働いていることを学習しましたね。では、覚えていることを発表してください。 (C：てい防やダムがつけられています) (C：てい防の草かりをしていました) (C：水防倉庫には洪水が起こったときに使う道具がしまっています)</p> <p>T：そうでした。いろいろな人が、さまざまことをして、日ごろから洪水が起きないように働いているのでしたね。では、今日は、もしも自然災害のひとつである風水害が起こったら、どんな人がどのような仕事をするのか、について学習します。 今日の授業のテーマはこれです。 ※“授業のめあて”を黒板に書き（もしくは事前に“授業のめあて”を記載したマグネットシート等を黒板に貼る）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて：風水害が発生したら、ひ害を小さくするためにどのようなことが行われているのだろう</p> </div>		<p>●2コマ目の復習</p> <p>・2コマ目で学習した“洪水が起こったときに自分たちの暮らしにどんな影響が出るか”、“洪水が起こらないようにするためにどのような対策がとられているのか”、“普段どのような人たちが洪水を防ぐために働いており、何をしているのか”の観点から復習を行う。</p>																																						
<p>展開 (30分)</p>	<p>T：では、みなさん、グループになってください。 T：これは、洪水が起こった時に、どんな人達が、どんな働きをするのかを描いたイラストです。重信川で洪水が発生したときに働く人々は、どんな人がいるのでしょうか？ 黒板貼り付け：“【図】風水害の発生時に働く人びとのイラスト” ※イラストを参考にして、どのようなことが行われるか考える時間を設ける（5分程度）</p> <p>T：ではここでプリントを配ります。配ったプリントと黒板に貼り付けているイラストを使って、風水害が起こった時に働く人びとについてどのような仕事をしているのか、さらに考えてみましょう。 A4 配付プリント：“【表】重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう（回答らん空らん版）” ※イラストを参考にして、どのようなことが行われるか考え、プリントをうめる時間を設ける（5分程度）</p> <p>T：みなさん、できましたでしょうか。では答えあわせをします。 スクリーン or TV画面 or A3 手持ち資料：“【表】重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう”</p> <p>T：イラストの中で、川からの水が堤防からあふれないようにしたり、こわれないようにするための『水防活動』をしたり、こわれたところを直しているのは、水防団や川を管理する人達です。水防団の人達は、土のうという土が入った袋を積み上げて、水があふれないようにしていますね。他には、国の機関である気象台と国土交通省が協力して洪水予報を行ったり、町の人々が地域の人々にひなん指しを発令したり、県の人々が関係機関に連絡したりします。 このように、さまざまな人が協力して被害を最小限に抑えるために働いているのですね。</p>	<div style="text-align: center;">  <p>【図】こう水の発生時に働く人びとのイラスト 解説書 P19</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">職名</th> <th style="width: 50%;">仕事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災士</td> <td>☑</td> </tr> <tr> <td>水防団</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消防士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警察官</td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福祉士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会社員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主婦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【表】重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう（回答らん空らん）</p> </div>	職名	仕事	防災士	☑	水防団		消防士		警察官		救急士		医師		看護師		介護士		福祉士		保育士		教員		会社員		主婦		学生		高齢者		障害者		外国人		その他		<p>●災害時における関係機関の対応についてイラストをみて考えさせる</p>
職名	仕事																																								
防災士	☑																																								
水防団																																									
消防士																																									
警察官																																									
救急士																																									
医師																																									
看護師																																									
介護士																																									
福祉士																																									
保育士																																									
教員																																									
会社員																																									
主婦																																									
学生																																									
高齢者																																									
障害者																																									
外国人																																									
その他																																									

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点
	<p>風水害に限らず、地震や津波など、他の自然災害についても同じようなことを行っています。</p> <p>T：ちなみに、水防団とは、地域の住民で組織された団体です。災害が発生しそうな時は川の見回りをし、イラストのように堤防の決壊等の災害を未然に防ぐために土のうを積むなど、水防活動を行います。普段は災害時に備えて、水防訓練等を行っています。松前町では、消防団の人が、水防団の役割をつとめています。みなさんのまわりの大人にも消防団員の人がいるかもしれませんね。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】訓練”</p> <p>T：このように国や県、町などの機関のみではなく、地域の人々も災害時の活動を支えているということを覚えていてくださいね。</p> <p>T：ところで、2限目に紹介した石手川ダムですが、実際に大雨が降ったとき、このようなはたらきをしています。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】雨がふる前のダム”、“【写真】大雨後のダム”、“【図】石手川ダムの役わり”、“【写真】ダムの放流”</p> <p>T：写真をご覧ください。大雨が降ったあと、ダムが水を貯めているのがわかりますね。ダムがないと、川の上流に降った雨は、川を一気に流れ下ってしまって、下流であふれてしまう危険があります。そんなことにならないようダムで水を貯めながら、放流をして少しずつ川に流すこと（「調節」という）をしているのです。</p> <p>T：それでは、実際に風水害が起こりそうな時もしくは起こった時に、どんな人たちがどのような仕事をしているのか、少し詳しく学習しましょう。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】カメラによる河川情報のしゅう集”、“【写真】川の防災情報”、“【写真】地デジ放送による防災情報のていきょう”、“【写真】屋外のかく声器”、“【写真】ポンプ車によるはい水”、“【写真】ひ災か所の応急復旧”、“【写真】てい防の修理”</p> <p>< “カメラによる河川情報のしゅう集” の写真について > 災害時には、堤防などに設置しているカメラで、国や県は河川の状況を収集し、市や町に連絡をします。</p> <p>< “インターネットでみる川の防災情報” の写真について > 国や県が収集した川の状況や、避難の判断に必要な情報を「川の防災情報」というホームページで提供しています。</p> <p>< “地デジ放送による防災情報のていきょう” の写真について > テレビリモコンのdボタンを押すことで、テレビから防災情報が提供されます。</p> <p>< “屋外のかく声器” の写真について > 町は、国や県から連絡を受けて、屋外の拡声器や広報車をつかって、避難情報を知らせます。</p> <p>< “ポンプ車によるはい水” の写真について > この写真は平成29年9月の洪水時のものです。長尾谷川の水位が上がり、堤防から水があふれる危険があったため、長尾谷川の遊水地の水を松前内港へポンプ車で排水しています。</p> <p>< “ひ災か所の応急復旧” の写真について > この写真は訓練のときの様子ですが、消防団（水防団）の人たちが、土のうを使って、壊れた堤防の修理を行っています。</p> <p>T：みなさん、どうでしたか。わたしたちのくらしの安心・安全のためにたくさんの人が協力して働いているということがわかったでしょうか。</p>	<p>教材</p>  <p>【表】重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう 解説書 P20</p>  <p>【写真】訓練</p>   <p>【写真】雨がふる前のダム 【写真】大雨後のダム</p>   <p>【図】石手川ダムの役わり 【写真】ダムの放流</p>   <p>【写真】カメラによる河川情報のしゅう集</p>   <p>【写真】インターネットでみる川の防災情報 【写真】地デジ放送による防災情報のていきょう</p>	<p>●風水害が起こりそうな時もしくは起こった時に働く人達の仕事</p> <p>・写真を次々と見せていき、児童に説明を行う。</p>

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点
		  <p>【写真】屋外のかく声器</p> <p>【写真】ポンプ車による はい水</p>  <p>【写真】ひ災か所の応急復旧</p>	
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T：では、今日の学習でわかったことを、ノートにまとめてください。 ※今日の学習で分かったことをノートにまとめる時間を設ける（1分程度）</p> <p>T：ノートにまとめたことを発表してください。 (C：風水害が起こったら、さまざまな人が協力して働いていることがわかりました) (C：たくさんの人達が、わたし達のくらしの安全のために働いていることがわかりました)</p> <p>T：それでは、今日のまとめです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 風水害が発生すると、さまざまな人々が協力して安全を守る </div>		

風水害が発生したら、ひ害を小さくするためにどのようなことが行われているのだろう

風水害時に働く人びと



ひ害を小さく
するために…



さまざまな人びと
が協力している

- ・ ころ水を予想→気象台・国土交通省
- ・ 関係機関に連らく→県
- ・ ひなん指示を発令→市






- ・ ひなんをゆうどう→けい察官
- ・ けが人を運ぶ→消防
- ・ 人びとを救助する→自衛隊
- ・ てい防を修理→国土交通省
- ・ 土のうを積む→水防団
- ・ 電線を修理→電力会社
- ・ 電車を止める→鉄道会社
- ・ 情報を伝える→マスコミ

風水害が発生すると、さまざまな人びとが協力して安全を守る

発問及び板書計画(4/4 自然災害に備えてできることを考えよう)

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
<p>導入 (10分)</p>	<p>T: みなさん、これまで「自然災害からくらしを守る」について学習してきましたが、これまでの授業について振り返ってみましょう。 黒板貼り付け: “【写真】自然災害の写真(地しん、つ波、ふん火、こう水、土しゃ災害)”</p> <p>T: 黒板に日本で起こる自然災害の写真を貼りました。これら自然災害のうち、風水害はどれでしょうか? (C: 洪水と土砂災害です)</p> <p>T: そうです。いちばん最初に、台風や大雨によって起こる災害を風水害という、と学習しましたね。ほかに、これまでの3回行った授業のまとめで、覚えていることを発表してください。 (C: 重信川で起こる水害は、川の地形が関係している) (C: 風水害が起こるとわたしたちのくらしに大きな影響がでる) (C: 風水害が発生するとさまざまな人びとが協力して安全を守る)</p> <p>T: そうですね。重信川で風水害が起こるのは、川の地形などが関係しているということを1時間目に学習しましたね。2時間目は、国や県や町が風水害による被害を減らすために行なっている対策や、普段から行っていることについて、学習しました。3時間目は、実際に災害時に働いている人々について学習しました。では、自然災害に備えてわたしたち自身に何かできることはないでしょうか?今日の授業ではこのようなことを学習したいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて: 自然災害に備えて自分達ができることはなんだろう</p> </div> <p>T: 今日は、松前町でも起こる可能性がある風水害に備えて、みなさんが普段できることは何かを考えていきましょう。</p>	<div style="text-align: center;">  <p>写真</p> <p>写真</p> <p>写真</p> </div> <p>【写真】自然災害の写真 (地しん、つ波、ふん火、こう水、土しゃ災害)</p>	<p>・簡潔に1~3時間を振り返る。</p>
<p>展開 (30分)</p>	<p>T: みなさん、この絵をみてください スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料: “【図】川から水があふれそう! どうすればいい?”</p> <p>T: 絵のなかの家はみなさんの自宅だと考えてください。堤防から水があふれそうです。みなさんはいま自宅にいます。どのような行動が必要か、考えてみてください。 (C: 家族といっしょにすぐ避難場所に避難します。) (C: 家のすぐ外まで水がきているかもしれないので、2階に避難します。)</p> <p>T: そうですね。状況を確認して安全な場所へ移動することは、命を守るためにはとても大事なことです。では、これからプリントを配ります。 A4配付プリント: “【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫?”</p> <p>T: これから風水害にそなえて、みなさんが普段から行っていることをチェックしてみましょう。 T: これから先生が読み上げるので、チェックをしてみてください。 ※【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫?を読み上げ</p> <p>T: どうでしたか?いくつかチェックが付きましたか? (C: 全然チェックが付きませんでした) (C: ●つしかチェックが付きませんでした)</p> <p>T: みなさんチェックの数が少ないようですね。みなさん、グループになってください。これからこのチェックリストを参考にして、風水害にそなえて、わたし達がふだんからできることは何なのか、グループで話し合っ</p>	<div style="text-align: center;">  <p>【図】川から水があふれそう! どうすればいい?</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫? 解説書 P27</p> </div>	

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
	<p>T：ではみんなで話し合ったことを発表してください。 ※児童の回答を黒板に書き出す</p> <p>(C：避難所を調べておくことだと思います) (C：避難場所への道を調べておくことだと思います) (C：家族と連絡が取れる連絡先を調べておくことだと思います) (C：避難道具を用意しておくことだと思います) (C：家族で話し合うことだと思います)</p> <p>T：そうですね。そのとおりです。これらはうちに帰ったら、おうちの人とぜひ相談してみてください。では、これから、チェックリストの1と2をみなさんに確認してもらいます。避難所の場所や避難所への道の確認には、松前町の「洪水ハザードマップ」というものを使います。 黒板貼り付け&A3 配付プリント：“【図】松前町洪水ハザードマップ”</p> <p>T：このハザードマップを使って、洪水が起こった時に、みなさんが避難する場所を確認してみましょう。みなさんが住んでいる場所から一番近い赤い家の形をした記号が、避難場所ですが、どこになりますか。 (C：●●小学校(●●中学校、●●公民館)です)</p> <p>T：そうですね。避難する場所は●●小学校(●●中学校、●●公民館)です。でも、ちょっとよくみてください。●●小学校(●●中学校、●●公民館)の場所は、ハザードマップでは色がついています。この色は、もし洪水が発生した場合に、この場所は、水につかってしまう、ということを表しています。どうすればよいのでしょうか。 (C：色のついていない場所にある、避難所に行けばよいと思います。でも松前町はほとんどが水につかってしまいます…)</p> <p>T：そうですね。避難する時は浸水が始まる前に安全な場所に行くことが基本です。でも、車での避難は危険です。もしも道路に水がたまっていて、車が水につかると動かなくなります。 スクリーン or TV画面 or A3 手持ち資料：“【図】深い水たまりのなかでは車は動けない！”</p> <p>T：避難するときは早めに行動することがとても大事ですが、もしも、水が家の周りまで来ていたら、無理に移動することは大変危険です。そのときは、家の二階以上や近所の高い建物など、できるだけ高いところに移動してください。 スクリーン or TV画面 or A3 手持ち資料：“【図】足元がみえないとどうなる？”</p> <p>T：ここに松前町がつくった防災カードがあります。このカードとハザードマップを使って、みなさんの自宅ではどのタイミングでひなにするのがよいのか、調べてみましょう。 A4 配付プリント：“【図】松前町防災カード”</p> <p>T：また、避難するときは、鉄道や道路の下をくぐるアンダーパスなど、水がたまりやすいところがある道路は通ることができませんよね。普段からハザードマップを使って、避難できる場所や、その場所への経路をおうちの人と確認しておきましょう。</p> <p>T：ところで、みなさんの家には、避難するときに持ち出す非常用持ち出し袋はありますか？風水害に備えて、家庭で準備しておくといものは、どんなものがあるのでしょうか。非常用持ち出し袋の中身を考えてみましょう。 (C：食料や水は絶対必要です。) (C：着替えるための服や下着、タオルなどもいると思います。)</p>	<p style="text-align: center;">ハザードマップ</p> <p>【図】松前町こう水ハザードマップ (重信川しん水想定区いき1) 解説書 P28</p>  <p>【図】深い水たまりのなかでは車は動けない！</p>  <p>【図】足元がみえないとどうなる？</p> <p style="text-align: center;">防災カード</p> <p>【図】松前町防災カード</p>	<p>・簡単に、ハザードマップの説明をする。</p> <p>・松前町ではほぼ全域が重信川の浸水区域となる。普段から避難するタイミングや避難場所、避難経路を確認しておくことは大切であることを意識づけるようにする。</p>

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
	<p>T：みなさん、必要なもの考えることができましたね。気がついた人もいますが、避難するときに持ち出すものなどは、みなさんのうちによってちがいます。例えば赤ちゃんがいるおうちだと、ミルクやおむつが必要ですね。家に帰ったら、家族と一緒に持ち出すものを考えてみてください。このように、自分で自分の命を守る行動のことを「自助」といいます。</p> <p>T：また、松前町には、災害時に地域の住民でたがいに協力し助けあう、“自主防災会”という組織があります。自主防災会は自然災害の発生などで危険な状況になったとき、隣近所の人たちがおたがいに協力して助け合い、救出救護、通報、避難誘導などを行う組織です。松前町の自主防災会は、町内の3つのブロックあわせて24結成されています。困ったときは、地域の人達で助けあうことが大切で、このことを「共助」と言います。 スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】自助・公助・共助”</p> <p>T：では、これからプリントを配ります。このプリントを参考にして、風水害が起こりそうな時、または起こった時に、わたしたち自身でできることをグループで話し合ってノートにまとめてください。 A4配付プリント：“【図】風水害に対する心がけ・きん急時の心がけ”</p> <p>T：ではみんなで話し合ったことを班ごとに1つずつ発表してください。 ※児童の回答を黒板に書き出す (C：川の水位に注意して、水位がき険なところまで高くなったらみんなに知らせ避難することだと思います) (C：テレビやラジオで天気や防災情報を確認して、避難の準備をしておくことだと思います) (C：避難の呼びかけや避難指示があったら速やかにしたがって、避難することだと思います) (C：避難するときは、お年よりや子どもを優先し、落ち着いて行動することだと思います) (C：近所の人達に避難の呼びかけをすることだと思います)</p> <p>T：そうですね。そのとおりです。このプリントには、風水害が起こりそうな時や起こった時に自分の身を守るために知っておきたいこと、備えておきたいこと、が書いてあります。授業が終わったら、持って帰っておうちの人もみせてあげてくださいね。</p> <p>T：さて、ここまで風水害に備えて普段からできること、風水害が起こった時にできることを考えてきましたが、地震や津波などの、風水害以外の自然災害が起こった時と共通することはあるでしょうか？ (C：避難場所を調べておくことは共通していると思います) (C：避難道具を用意しておくことも共通していると思います) (C：家族と連絡が取れる連絡先を調べておくことも共通していると思います) (C：普段から家族で話し合うことも共通していると思います) (C：避難するときはお年寄りや子どもを優先し、落ち着いて行動することも共通していると思います) (C：避難の呼びかけ・避難指示に速やかにしたがうことも共通していると思います) ※共通している項目に赤丸を付けていく。</p> <p>T：そうですね。他にもテレビやラジオで防災情報を知ることも共通していますね。万が一のときに備えて、何をしなければならないか、風水害が起こった時どのように行動しなければならないかを知っておくことはとても大切です。また、これらのことは、風水害に限らず地震などの自然災害についても同じです。</p>	<p>画像</p> <p>【図】自助・共助・公助</p>  <p>【図】風水害に対する心がけ ・きん急時の心がけ</p>	<p>・解説書 p22～25 を参考に、なぜこれらの行動が大切なのかを説明する。</p>

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T: それでは、今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。 ※今日の学習で分かったことをノートにまとめる時間を設ける(1分程度)</p> <p>T: ノートにまとめたことを発表してください。 (C: 風水害の時に避難する場所がわかりました) (C: 風水害に備えておくことは大切だということがわかりました) (C: 自然災害が起こった時にどのように行動しなければならないかを知っておくことは大切だということがわかりました)</p> <p>T: はい、ありがとうございます。 今日の授業で特に大切なことは、風水害だけでなくいろいろな自然災害に共通して、災害が起こりそうなとき、起こったときにこれだけはやったほうがよいことを知ること、また、ふだんから、災害が起こったときにために準備できることを考えてやってみることです。 例えば、テレビやラジオ、インターネットなどから、気象情報や避難の情報を集めること。町の防災マップやハザードマップで避難場所を確認すること。また、災害が起こるときは家族が一緒のときとは限らないので、家族で落ち合う場所を決めておくこと。避難するときに必要なものをリュックサックなどに準備しておくなどです。うちに帰ったらぜひおうちの人と話し合ってみてください。</p> <p>自然災害に備えて、普段から自分にできる備えを行うことが大切である</p>		<p>・まとめとして、様々な自然災害に共通して発生時に行った方がよいこと、ふだんから備えられることについて、板書を枠で囲むなどしながら、詳しく説明する。</p>


<板書計画>

自然災害に備えて自分達ができることはなんだろう。

自然災害

写真
つば

写真
地しん



火山のふん火

風水害
写真
こう水 土しや災害

▼ 風水害が起こりそうな時、起こった時にできること

- ・ 川の水位に注意する
- テレビやラジオなどで天気や**防災情報**を確にんする
- ひなんのよびかけ・ひなん指示に速やかにしたがう
- ひなんするときはお年よりや子どもをゆう先し、落ち着いて行動する
- 近所の人達にひなんの呼びかけをする

▼ 風水害に備えてふだんからできること

- ひなんする場所を調べておく
- ひなん場所への道を調べておく
- 家族と連らくが取れる連らく先を調べておく
- ひなん道具を用意しておく
- 家族で話し合う

ほかにも… **家族と落ち合う場所を決めておく** など

○ →風水害以外の自然災害でも自分達にできることは共通している

ハザードマップ